

令和3年度 地域福祉コーディネーターリーダー研修会 開催要綱

1. テーマ

住民と協働する個別支援ワーカーの役割と活動実践の視点、リーダー養成

2. ねらい

地域生活課題が複雑化・複合化するなか、地域住民同士が相互に助け合える地域共生社会の実現が求められています。そのためには、住民と協働して支援を必要とする人の発見、支援調整、あるいは新たな仕組みづくりや地域社会への問題提起等に取り組むワーカーの存在が不可欠です。

「地域共生社会」の実現をめざし、住民が主体的に地域生活課題を解決するための仕組みづくりが行われています。包括的・総合的な相談支援体制の確立に向けた新たな地域福祉施策がすすめられるなか、社協における総合相談・生活支援体制の強化とその具現化を担うワーカーの力量を高めることが一層求められています。

本研修会では、新型コロナウイルス感染症の影響による地域生活課題の変化も踏まえながら、ワーカーの役割を再確認し、住民との協働による福祉・生活課題への気づき、ケースの発見、そして支援の構想における基本的な視点について、講義や事例解説等から学び、ワーカーとしての力量の向上や各地域において学びの機会を増やすリーダー養成を目的に開催します。

3. 主催 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

4. 日時 オンデマンド動画：令和3年9月6日（月）予定

※研修サイトでの動画視聴

ライブ配信研修：令和3年9月30日（木）

※zoom ミーティングによるオンライン研修

5. 対象 ○住民と協働して個別支援に取り組む社協職員

（コミュニティソーシャルワーカー、コミュニティワーカー、地区担当職員等）

○都道府県・指定都市社会福祉協議会職員

6. 定員 100名（先着順／定員になり次第、締切とさせていただきます）

7. 参加費 5,000円（税込）

8. 課題 参加にあたり、事前・事後の課題がございます。別紙「事前課題について」をご確認いただき、期日までの提出をお願いいたします。

9. 内 容

【オンデマンド研修】※研修サイトでの動画視聴

30分	<p>基調説明「地域福祉をめぐる動向と地域福祉コーディネーターへの期待」 全国社会福祉協議会 地域福祉部</p> <p>地域福祉をめぐる施策の動向や社協等における地域生活支援の取り組みを知る。</p>
60分	<p>講 義 1「これからの地域福祉コーディネーターの役割」 講 師 同志社大学 名誉教授 上野谷 加代子 氏</p> <p>住民と協働による個別支援が求められる社会的背景やその現状、地域の実情、住民と協働する個別支援ワーカーの役割等、基本について学ぶ。</p>
60分	<p>講 義 2「ファシリテーションについて考える」 講 師 同志社大学社会学部 教授 野村 裕美 氏</p> <p>地域住民や福祉施設と協働し、地域福祉を推進していくにあたり求められるファシリテーションの必要性やその機能について学ぶ。</p>

【ライブ配信】9：30～17：00 ※zoom ミーティングによるオンライン研修

9:30～9:35 (5分間)	オリエンテーション
9:35～9:55 (20分間)	<p>導 入「地域福祉コーディネーター・リーダー研修の開催にあたり（仮）」 講 師 同志社大学 名誉教授 上野谷 加代子 氏</p> <p>本研修の開催にあたり、地域福祉コーディネーターに求められるポイントや機能について再確認する。</p>
9:55～10:55 (60分間)	<p>講 義 3「コロナ禍への対応も含めた豊中市における コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の位置づけと役割」 講 師 豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長 勝部 麗子 氏</p> <p>豊中市社協におけるコミュニティソーシャルワーカーとしての実践を通じて、住民と協働する個別支援ワーカーの役割や内容を理解する。また、生活困窮者自立支援制度への取り組みもふまえ、これからの社協の総合相談・生活支援のあり方を考える。</p>
10:55～11:00 (5分間)	小休憩
11:00～12:00 (60分間)	<p>講 義 4「事例検討とは一味違うケースメソッド ～リーダーシップを養う討議法～」 講 師 同志社大学社会学部 教授 野村 裕美 氏</p> <p>今後の地域福祉実践者におけるリーダーシップを養うための討論方法を、ケースメソッドによる事例検討を通して学ぶ。</p>
12:00～13:00 (60分間)	昼休憩

<p>13:00～16:00 (180 分間) ※途中休憩をはさみます。</p>	<p>セッション「私だったらこの時、どうする？」 ～ケースメソッドによる事例学習～</p> <p>聞き手 同志社大学社会学部 教 授 野村 裕美 氏 話し手 豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長 勝部 麗子 氏 助言者 同志社大学 名 誉 教 授 上野谷 加代子 氏</p> <p>ケースという現実的な状況を借りて疑似体験しながら、相談内容における住民との協働の必要性の見立て、協働に必要な情報収集や関係者への働きかけ等、住民との共同による個別支援を構想していくための思考や行動方法について学ぶ。 ※令和3年度は、過去受講者へファシリテーターの協力をお願いしています。</p>
<p>16:00～17:00 (60 分間)</p>	<p>研修会の振り返り・まとめ</p> <p>助言者 同志社大学社会学部 名 誉 教 授 上野谷 加代子 氏 豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長 勝部 麗子 氏 同志社大学社会学部 教 授 野村 裕美 氏</p> <p>研修を通じて、受講者が気づいたこと、学んだことを共有する。</p>
<p>17:00</p>	<p>閉 会</p>

10. 申込方法 下記、専用申込サイトより申し込みをお願いいたします。

(<https://www.mwt-mice.com/events/zcfrder2021>)

事前課題提出先：z-chiiki@shakyo.or.jp

11. 申込締切 令和3年8月20日(金)〔定員になり次第、締切とさせていただきます〕

※ 事前課題の提出期限も8月20日(金)です。

※ 参加申込と事前課題の提出同時である必要はありません。

※ 定員に達ししだい締切とさせていただきますので、参加を希望される方は先に参加申込をお済ませください。

13. 問い合わせ先

〔研修会の内容に関すること〕

社会福祉法人全国社会福祉協議会 地域福祉部 担当：貴島、森山

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL.03-3581-4655 FAX.03-3581-7858 E-mail.z-chiiki@shakyo.or.jp

〔参加申込みに関すること〕

名鉄観光サービス(株)MICE センター 新霞が関支店 担当：波多野、柴田

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビルL B階

TEL.03-3595-1121 FAX.03-3595-1119

受付時間 平日 9:30～17:30 土日祝日休業